

## 入賞

一般建築物の部

風や雨と遊ぶ・みんなの「大きな家」

# はくすい保育園

佐倉市の定員60名の保育園。同じ法人が運営する特別養護老人ホームの隣接地に、南北に高低差約5mの傾斜地という制約ある敷地条件を、むしろ「恵まれた環境」ととらえ、その特性を最大限に生かして計画された保育園である。

保育室をすべて1階扱いにすることで内装制限(準耐火)を逃れ、内部を木質仕上げとしている。構造は在来工法の軸組木造。斜面に沿って階段状に展開する保育室は、林立する柱・筋交いと740mmの大きな段差によって緩やかに仕切られている。壁のない大きな空間は、園児の年齢を超えた交流・対応を可能にし、園全体をのびやかで活発な場に行っている。

設備計画は極力エアコンを使わないことを目指し、冬は、大きな開口とトップライトで、太陽の恩恵を十分に受け、取り入れた暖気のサーキュレーションシステムを整備している。夏の通風計画は、南面と北面に風の出入り口を設け、建物の高低差を利用した重力換気により、南から呼び込まれた風は北側のテラスに抜ける。

さらに、井水を屋根に流して冷却効果を期待すると同時に、流れ落ちる水を利用した池を遊び場にするなど、子どもたちの感性を育む独創的な配慮も楽しい。

(夏目 幸子)



保育園を「大きな家」と捉え、異年齢の子供たちが同じ空間を共有できる空間構成 (撮影/黒住 直臣)



敷地の特徴である南斜面を最大限活かした階段状の保育室 (撮影/黒住 直臣)

建築主：社会福祉法人誠友会

設計：株式会社山崎健太郎デザインワークショップ

施工：株式会社東庄建商

所在地：佐倉市岩名961-2

9

## 入賞

一般建築物の部

学び・憩い・集い・情報の場

# 八千代市立中央図書館・八千代市市民ギャラリー

市民の生涯学習の拠点施設で、「学び・憩い・集い・情報の場」をコンセプトに、新川の畔という立地から、河の流れを感じるような外観となっている。川面に広がる波紋を学習の広まりとイメージし、波紋の中心にあたる部分にフリースペースを配し、そこから、市民ギャラリー、中央図書館へと「学びの波」は、広げられている。中央図書館の利用者も市民ギャラリーの存在を認識し、相乗効果が高まるゾーニングとなっている。書架倒壊や本の散乱による避難パニックなど図書館の宿命的なリスクを回避し、安心して快適な空間を創造するため、免震構造が採用されている。ユニバーサルデザインを徹底させたワンフロアの施設は、天空光の採り入れや、太陽熱利用の温水熱源、地中熱を利用し負荷の低減を図る空調設備など、自然エネルギーを活用した省エネ・創エネにも取り組んでいる。開放的で誰もが親しみやすい空間づくりに努め、市民の文化芸術活動の発表・交流の場となる市民展示室や収蔵美術品を展示する常設展示室を備え、快適に長時間滞在できる複合施設となっている。

(圓崎 直之)



外観 新川側からの全景(新川とともに)



エントラホール 図書館へのみちゆきに、フリースペース(左)とギャラリー(右)

建築主：八千代市

設計：株式会社岡田新一設計事務所

施工：前田建設工業株式会社 千葉営業所

所在地：八千代市村上2510